

2017年4月22日(土)

14:00~17:00

関西大学千里山キャンパス児島惟謙館1階 第1会議室

法学研究所 第135回特別研究会 政策創造学部創立10周年記念事業

境界、移民、主権：ボーダー・スタディーズの現在

ヒト・モノ・情報・カネの国境を越えた動きが盛んになるにつれて、国境を、外部と接する領土の外縁にあり、外部からの侵入を阻止する線や壁として捉えるにとどまらず、その境界領域における多様な行為主体の織り成す力学や構造に注目が集まりつつあります。

法学研究所では、地中海における難民流入の最前線であるランペドゥーザ島の実情を手掛かりに境界のはらむ問題に取り組む北川真也氏と、北方領土問題などを手掛かりに、ボーダー・ツーリズム等を提唱している岩下明裕氏をお招きして、境界研究の新しい動向についてお話しいたします。

さらに、それを手掛かりにして、国際関係論、国際法、政治思想研究における従来の視座の再検討を行う予定です。多数のご来場をおまちしています。

講演

聴講自由
申込不要

北川 真也 (三重大学 人文学部准教授)

「ヨーロッパ・地中海における移民と境界」

岩下 明裕 (北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター教授)

「境界から権力と政治を考える

ボーダー・スタディーズからの問題提起」

司会
討論者

安武 真隆 (関西大学 政策創造学部教授)

討論者

柄谷 利恵子 (「帝国」的实践研究班研究員
関西大学政策創造学部教授)

五十嵐 元道 (「帝国」的实践研究班研究員
関西大学政策創造学部准教授)